

ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集の発行にあたって

ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術
論文特集編集委員会

委員長 岩井 誠人



スマートフォンやタブレット端末などの普及、そしてそれを支えるLTEや無線LANなど新しい無線システムの実用化に伴い、高速なワイヤレス通信が一般のユーザにも身近なものとなってきた。また、無線電力伝送やRF-IDなどの無線を活用した新たな技術研究分野も注目されている。更には、コグニティブ無線やヘテロジニアスネットワークといった複数のワイヤレスシステムが共存する技術の研究開発が進められている。このような新しい技術の確立には、従来技術を発展させる形態の研究・開発だけでなく、異なる複数技術の融合や既存及び新規技術の融合が重要となっている。

このような背景のもと本特集では、このような技術の融合を実現する最新の研究成果を対象として、アンテナ・伝搬分野の幅広い技術に関する論文を募集することとした。本特集は、いわゆるアンテナ・伝搬関連特集（AP特集）の12号目にあたる。この一連のAP特集は、アンテナ・伝播研究専門委員会（AP研）が中心となって企画し和文論文誌Bの9月号に毎年掲載しているものである。

AP研では、より多くの研究結果が論文として発表され研究成果として結実するための一方策として、研究会推薦論文制度を活用した積極的な論文投稿推薦を行っている。2年前から実施されたこの施策により、AP特集号においても過去2年それぞれ4編・7編の研究会推薦論文の投稿があった。今年度は昨年を超える8編の投稿があり、本施策が着実に根付いていることを物語っている。これらを含めて合計論文28編・レター1編の投稿があった。この投稿に対する査読の結果、最終的に論文18編・レター1編が採択された。特集編

集委員会では極めて厳正な査読審議が行われたが、論文約64%・レター100%と比較的高い採択率となった。これは、高いレベルの論文が集まったことを物語っている。採択、そして掲載された論文には、複数の異なる技術分野、そして、従来技術と新規技術が融合した技術分野に関する研究成果が多数掲載されており、当初の目的に沿った特集となったと認識している。

これら19編の一般投稿論文に加えて、本特集では3編の招待論文を掲載した。無線電力伝送、ボディアリアネットワークというアンテナ・伝搬の新しい技術分野に加え、携帯電話などの小型端末に必須の技術であるヘリカルアンテナに関する集大成ともいえるべき論文をまとめて頂いた。いずれもアンテナ・伝搬分野の第一線で活躍されている研究者の方々に執筆をお願いしており、有用な情報にあふれている。

これら掲載された論文が、読者に新しい知見を与え、今後の研究開発の一助となれば幸いである。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた筆者の方々、査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力・御協力を賜った編集委員の方々、そして、編集作業の管理を御担当頂いた本会事務局の方々に、深く感謝申し上げます。

いらい ひょうと
岩井 誠人（正員）

昭62京大・工・電気Ⅱ卒。平元同大学院修士課程了。同年国際電信電話（株）（KDD、現KDDI）入社。衛星通信・陸上移動通信におけるアンテナ・伝搬及び無線通信に関する研究に従事。平16同志社大・工・助教授。平24同教授。情報学博士。平19～21本会アンテナ・伝播研究専門委員会幹事。平20本会論文賞受賞。平23～25本会通ソ英文論文誌編集副委員長。著書「移動通信における電波伝搬」。

ワイヤレスシステムを支える技術を融合する アンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

委員	長	岩井誠人	・	西森健太郎	・	北尾光司郎	・	庄木裕樹		
幹	事	笹森崇行	・	岩井浩	・	中野雅之	・	野口啓介	・	藤元美俊
委	員	有馬卓司	・	高橋徹	・	道下尚文				